

XP-002196201

AN - 1978-55947A [31]

CPY - KONG

DC - D13

FS - CPI

IC - A23B7/00 ; A23L1/21 ; C11D7/54

MC - D03-H01

PA - (KONG ) KONGO KK

PN - JP53072852 A 19780628 DW197831 000pp

- JP58058057B B 19831223 DW198404 000pp

PR - JP19760146309 19761206

XIC - A23B-007/00 ; A23L-001/21 ; C11D-007/54

AB - J53072852 Method comprises bleaching wheat bran using hydrogen peroxide and a treating agent contg. alkali simultaneously, washing, neutralising, adding hyposulphite and washing with water.

Alternatively the method involves adding hydrogen peroxide and the treating agent contg. alkali, defoaming agent and adsorbent simultaneously or separately to wheat bran in hot water, stirring the mixt. with heating; washing, neutralising; adding hyposulphite; and washing with water.

- Both white wheat bran and also red wheat bran, which is less expensive and more difficult to be bleached than white wheat bran, can be bleached easily and quickly. The bleached wheat bran which can be used as a pickling bed.

- White and red wheat bran can be bleached sufficiently with as little as 20 w/w% on wheat bran of 35% hydrogen peroxide. The defoaming agent may be silicon and the adsorbent may be kieselguhr.

IW - BLEACH RED WHITE WHEAT BRAN HYDROGEN PEROXIDE PRESENCE ALKALI  
IKW - BLEACH RED WHITE WHEAT BRAN HYDROGEN PEROXIDE PRESENCE ALKALI

NC - 001

OPD - 1976-12-06

ORD - 1978-06-28

PAW - (KONG ) KONGO KK

TI - Bleaching red and white wheat bran - with hydrogen peroxide in the presence of alkali

## 公開特許公報

昭53-72852

51 Int. Cl.<sup>2</sup>  
A 23 B 7 00

識別記号

52 日本分類

34 D 51

34 D 5

序内整理番号

7258 49

7258 49

43 公開 昭和53年(1978)6月28日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全2頁)

## 54 索引改良方法

東京都練馬区富士見台3-32-1

21 特 願 昭51-146309  
22 出 願 昭51(1976)12月6日21出願人 株式会社コンゴ  
東京都品川区西五反田7丁目22番17号22發明者 山岸耕太郎  
東京都北区滝野川4の5の9  
同 引地敬二

24代理人 弁理士 箕浦清

## 明細書

## 1. 発明の名称 索引改良方法

5. アルカリを含む処理剤がアルカリ、消泡剤及び吸着剤とからなっている特許請求の範囲  
第1項又は第4項記載の索引改良方法

## 2. 特許請求の範囲

## 3. 発明の詳細な説明

1. 索引過酸化水素を用いて漂白するに当り、過酸化水素と共にアルカリを含む処理剤を併用添加して漂白処理後、水洗、中和し、然る後次亜硫酸塩を添加処理してから水洗仕上げすることを特徴とする索引改良方法

本発明は漂白物(例えば沢庵漬)用として好適な漂白索引の製造方法に関する、特に特徴的には従来漂白が困難視されて用いられていなかつた量的には多く産出し価格の低廉な赤索まで十分に漂白しうる新規な索引改良方法に関するものである。

2. 索引白索又は赤索である特許請求の範囲第1項記載の索引改良方法

3. 索引を熱水中に入れ、これに過酸化水素水とアルカリ消泡剤及び吸着剤からなる処理剤を同時又は相前後して加え、加熱攪拌する加熱処理工程を行う特許請求の範囲第1項記載の索引改良方法

現在漂白物用索引の漂白は過酸化水素水(3.5%)による酸化漂白と次亜硫酸ソーダによる過酸化水素分解並びに還元漂白を行つてゐるが、仕上り索引の漂白度は主として過酸化水素による酸化漂白力によつて左右されている。

4. 热水中に索引及びアルカリを含む処理剤を入れて、加熱処理を行つた後、過酸化水素水を添加して加熱処理する特許請求の範囲第1項記載の索引改良方法

従来の白索の漂白工程を例示すると、白索1.5kgを約90ℓ(索の約6倍量)の熱水(90℃以上)に入れ、過酸化水素水(3.5%)を約3.0% (4.5~5%) 添加、加熱、攪拌する(90℃以上で約30~60分)。

次いで脱水後、約100ℓの水で水洗、脱水してから約90ℓの水に脱水板を入れ、次亜硫酸ソーダを板の約2～2.5% (300～350g) 添加、搅拌しながら約30分以上処理する。更に脱水後、約100ℓの水にて水洗及び脱水してから調味仕上げを行つてある。

しかし従来の漂白方法では白板の漂白処理に5時間程度の長時間を要するのみならず、産出量の多い赤板については植物用の目的に適合する程度まで十分に漂白することが困難であるという問題点をもつてゐる。

本発明はこのような問題点に対処するためになされたもので、アルカリを含む処理剤、更にはアルカリ、消泡剤及び吸着剤からなる処理剤を併用することにより過酸化水素による酸化漂白力を高め、よつて過酸化水素の添加量の減少及び白板以外にも赤板の漂白も可能して所期の成果をあげたものである。

上記本発明の方法によれば漂白効率の向上及び赤板の利用を開拓したという経済面の利益の

みならず、過酸化水素がアルカリに不安定で分解し易いことを利用して、白板の場合には過酸化水素 (35%) の添加量が約20%前後で済み、しかも同程度の添加で赤板も白板と同程度に漂白可能ならしめるという効果がある。

以下に本発明を具体的ならしめるために実施例を掲げる。

#### 実施例1

約90ℓの熱水 (90℃以上) に白板15kgと下記組成の処理剤1～1.5%入れ、約20分間加熱搅拌した。

#### 処理剤組成

ソーダ灰 (アルカリ)	60%
炭酸カリ (アルカリ)	30%
シリコーン (消泡剤)	7%
(シリコン樹脂として0.05%含有)	※
ケイソウ土 (吸着剤)	3%
計	100%

※ 吸着剤として謹粉、カオリン、炭酸カル

- 4 -

ルシウム等も同様に使用可能。

次いで上記の液に過酸化水素水 (35%) を板に対し約20% (3ℓ～2.5ℓ) 添加して加熱し、95℃程度で約40分間処理する。

然る後、脱水してから約100ℓの水で水洗し再び脱水する。この脱水板を約90ℓの水に入れ、酢酸又はリンゴ酸等の酸を板の0.5～1% (80～150g) 添加して搅拌中和後、次亜硫酸ソーダを板の約2～2.5% (300～350g) 加え、30分以上搅拌処理する。然る後脱水、約100ℓの水で水洗して再び脱水してから調味仕上げして製品とする。

#### 実施例2

約90ℓの熱水 (90℃以上) に赤板及び実施例1と同一組成の処理剤を板の2～2.5% (300～350g) 入れ、加熱搅拌する。

然る後過酸化水素水を板の約30% (4.5～5ℓ) 添加して約95℃まで加熱搅拌し約40～50分間処理してから脱水、約100ℓの水で水洗、再び脱水する。

約90ℓの水にこの脱水板を入れ、酸を板の0.8～1% (120～150g) 入れ、搅拌、中和後、次亜硫酸ソーダを板の約2～2.5% 加え、約30分以上搅拌処理してから、又脱水、約100ℓの水にて水洗、脱水後、調味仕上げして製品とする。

次に本発明方法の効果を明らかにするために参考写真で漂白効果を示した。

参考写真 (A1) は実施例1に従つて漂白した白板 (右側) と対照白板 (左側) とを対比したものであり、又参考写真 (A2) は実施例2に従つて漂白した赤板 (左側) と未漂白の赤板 (右側) とを対比したものであり、これより本発明法による漂白効果が顕著に認められた。

代理人 畠浦

